

2024年5月号／公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

## 公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

代表理事 松村 孝夫

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル607号室

TEL:06-7506-9068 FAX:06-7509-9069

ホームページ <https://www.krf.or.jp> E-mail [info@krf.or.jp](mailto:info@krf.or.jp)

## 目次

P1. 第32回助成金贈呈式を開催

P2. 新旧選考委員長のご挨拶

P2. 財団役員、評議員、選考委員

P3. 2024年度 第1回国際交流活動助成等の助成対象一覧

P4. KRF からのお知らせ

## 1 第32回助成金贈呈式を開催

2024年3月11日(月)、大阪市西区の大坂科学技術センタービルにおいて、第32回助成金贈呈式を開催しました。5年ぶりの実開催となりましたが、当日は、2023年度研究助成金の受領者、企業関係者、財団関係者等約70名にご参加いただきました。

2023年度の研究助成には、エネルギー・リサイクル分野33件、総合防災科学分野3件の計36件の応募があり、この中から両分野合わせて17件に対し、総額1,621万5千円の助成金を贈呈しました。

贈呈式の冒頭、松村代表理事が、「既存の枠組みを超えた、構造転換やイノベーションを引き起こす技術革新には、柔軟な発想や専門知識が必要です。専門知識を活かして課題を克服していただき、ブレイクスルーを実現する研究活動を、積極果敢に進めていただきたい」と研究者への期待を述べました。

また、選考過程ならびに選考結果について、北村新三前選考委員長(神戸大学名誉教授)から報告をいただきました。引き続き、助成金を受けられる研究者の皆さまへ、松村代表理事から贈呈書がそれぞれ手渡されました。その後、エネルギー・リサイクル分野の代表者である佐藤 更 助手(神戸大学)、総合防災科学分野の岡田 広久 助教(大阪公立大学)から、受領者挨拶が述べられました。

贈呈式に先立ち、過去に助成を受けられた研究者3名による助成研究発表会を行いました。発表者およびテーマは次のとおりです。

秋山 康子 准教授 (大阪大学 大学院工学研究科) 「磁気分離法を用いた新奇な流出油回収プロセスの開発」

岡崎 豊 助教 (京都大学 大学院エネルギー科学研究科) 「円偏光を作り出す新たな手法の開発」

坂井 勝哉 特任講師 (大阪大学 大学院工学研究科) 「大規模災害後の公平性を担保したインフラネットワーク復旧モデル」

贈呈式の後に、馬場選考委員長(大阪大学名誉教授)から挨拶と乾杯の発声の後、異分野研究者間の交流を目的とした交流会を開催し、盛況裡に終了しました。



贈呈式記念写真(助成金受領者、松村代表理事、選考委員他)



贈呈書の授与



発表会

## 2 新旧選考委員長のご挨拶

令和5年12月末をもって、北村新三・神戸大学名誉教授が選考委員長をご退任され、新たに馬場章夫・大阪大学名誉教授が選考委員長にご就任されました。

### 1. 北村新三前選考委員長ご挨拶



北村新三 前選考委員長

#### どんな時代も研究は幅広く前向きに

私の専攻はシステム制御工学でこれまで、計測制御技術が認識され始めた1960年代に大学を卒業して以降、1980年代はシステム制御論の生体系やロボット分野への適用、1990年代以後は自律分散システムと創発システムの研究に携わりました。当時は「自律分散システム」の概念が、現在のようにスマートグリッドなどの電力分野のみならず、交通、金融にまで適用される時代が来るとは、全く予想していませんでした。

さらにその昔行った電力系統の過渡安定性の研究が、後年、兵庫県「あわじ環境未来島構想」での再生エネルギーのスマートグリッド化を検討する際に、大変役立ちました。

そこで、研究者の皆さまには、科学技術と取り巻く社会環境は、刻々と変化していくますが、常に様々なことに好奇心を持ち、できるだけ幅広く、前向きに研究を行っていただきたいと思います。

#### 一般の人にも研究を理解してもらうことが重要

30歳代後半にドイツの大学へ留学した際、痛感したのは、ドイツの研究者は、日本の研究者よりもはるかに発表が上手であり、その成果を一般の人に知ってもらうため努力する重要性が当たり前のこととして、浸透していたことでした。是非、研究者の皆さまにも、研究者ご自身が自分の研究を一般の人にも理解してもらうことを、重視していただきたいと思います。

これまでKRFは、特に若手研究者の活動を重点的に支援してきましたが、今後も引き続き、若手研究者を支援していただくことを期待しています。

### 2. 馬場章夫新選考委員長ご挨拶



馬場章夫 新選考委員長

#### 助成を通じた人材育成と、若手研究者の活躍を支援

北村新三先生の後任として、選考委員長を拝命しました。計7名の選考委員会メンバーで研究者の支援活動を行って参ります。

私は2017年より選考委員を務めておりますが、この6年間にも、コロナウイルス、気候変動、地震等の自然災害、国家間の対立・戦争など加速度的にリスクが顕在化していることに恐怖を覚えます。それらに対応できる社会システムの強靭化が求められています。

対策を実装することが急務かもしれません、当選考委員会では、急がば回れという言葉を信じ、社会の基盤である人材育成と自由な研究とを使命とする大学・高専等の若手研究者の活躍を支援します。若手研究者の、自由な発想による、幅広い取り組みを支援しますので、若さ溢れるアイデアを期待しています。

#### 自然科学分野だけではなく社会・人文科学分野の、基礎研究、応用研究まで、対象とします

自然科学分野だけではなく社会・人文科学分野の、基礎研究、応用研究まで幅広い範囲を対象として考えています。科研費とは少し異なった審査の視点を持っていること、また関西の大学等の研究者に限定していることもKRFの特徴です。一人でも多くの若手研究者が、KRFの助成をきっかけにして、大きく飛躍していただくことを願っています。

## 3 財団役員、評議員、選考委員（2024年4月1日現在）

### ■代表理事

松村 孝夫 関西電力株式会社 顧問

### ■業務執行理事

枚田 哲郎 当財団 事務局長 ※

### ■理事

伊藤 順司 住友電気工業株式会社 顧問・シニアフェロー  
大澤 靖治 京都大学名誉教授  
辻 穀一郎 大阪大学名誉教授  
手塚 哲央 京都大学名誉教授  
富岡 洋光 一般財団法人大阪科学技術センター 専務理事

### ■監事

川下 清 弁護士  
中西 清 公認会計士

### ■評議員

近藤 泰正	株式会社竹中工務店 取締役 執行役員副社長
高西 一光	関西電力株式会社 執行役常務
武内 敬	大阪ガス株式会社 顧問
田中 博文	三菱電機株式会社 開発本部 技師長
西 亨	株式会社阪南コーポレーション 顧問
浜田誠一郎	関西電力株式会社 イノベーション推進本部 副本部長
鰐谷 貴	公益財団法人大阪コミュニティ財団 専務理事

### ■選考委員

#### 【エネルギー・リサイクル分野】

馬場 章夫	大阪大学 名誉教授 (委員長)
石原 康一	京都大学 名誉教授
小川 真人	神戸大学 名誉教授
富山 明男	神戸大学 名誉教授
馬場口 登	大阪大学 名誉教授
森井 孝	京都大学 名誉教授

#### 【総合防災科学分野】

馬場 章夫	大阪大学 名誉教授 (委員長)
林 春男	京都大学 名誉教授

(敬称略、※は常勤者)

## 4 2024年度 第1回国際交流活動助成等の助成対象一覧

2024年度の第1回国際交流活動助成等の募集(2月29日締め切り)には、23件のご応募をいただき、厳正な審査の結果、11件、総額2,400千円の採択を決定しました。

### 1. エネルギー・リサイクル分野 (10件: 2,200千円)

#### (1) 國際交流活動助成 [研究者海外渡航] (6件:1,200千円)

(単位:千円)

研究者	渡航目的	開催形態／渡航先	助成額
小西 彰仁 大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻精密資源化学領域・助教	第20回 新芳香族化学国際会議 (ISNA-20)への参加 および成果の発表	実開催 トロント (カナダ)	200
山岡 賢司 大阪大学 大学院理学研究科 高分子科学専攻・特任助教	国際学会 (IUPAC Macro 2024 World Polymer Congress)での研究発表	実開催 コヴェントリー (イギリス)	200
岡崎 魁 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 先端科学技術専攻・博士後期課程1年	国際会議 (CMCEE)での研究発表および情報収集	実開催 ブダペスト (ハンガリー)	200
MAHAMU HAMBALEE 神戸大学 大学院工学研究科 電気電子工学・博士後期課程2年	国際会議 (PVSC-52) の参加および発表	実開催 シアトル (アメリカ)	200
富永 京子 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科・准教授	2024年アメリカ地理学会での研究報告	実開催 ホノルル (アメリカ)	200
ALIZADEHKOLAGAR SEYEDMEHRZAD 大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻・博士後期課程2年	第3回アジア熱科学会議への参加および発表	実開催 上海 (中華人民共和国)	200

#### (2) 研究成果の出版助成 (2件:200千円)

(単位:千円)

研究者	投稿論文名	投稿論文誌	助成額
武川 順一 京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻・准教授	Improving full-waveform inversion based on sparse regularisation for geophysical data	Journal of Geophysics and Engineering	100
秋山 庸子 大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻・准教授	磁性ピッカリングエマルジョン化による流出油の回収に関する基礎的研究	IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering	100

#### (3) 研究発表会等の開催助成 (2件:800千円)

(単位:千円)

研究者	会議名称	助成額
山口 容平 大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻・准教授	住宅・建築物性能シミュレーションに関する Asim (国際建物性能シミュレーション学会の第5回アジア会議) 2024 の開催	400
佐藤 孝雄 兵庫県立大学 大学院工学研究科 機械工学専攻・教授	第4回先端機械科学技術に関する大学間合同シンポジウムの開催	400

### 2. 総合防災科学分野 (1件: 200千円)

#### (1) 國際交流活動助成 [研究者海外渡航] (1件:200千円)

(単位:千円)

研究者	渡航目的	開催形態／渡航先	助成額
大江 由起 滋賀県立大学 人間文化学部 生活デザイン学科・講師	28th IAPS Conferenceでの口頭発表	実開催 バルセロナ (スペイン)	200

## KRFからのお知らせ

**2024年度 研究助成および第2回国際交流活動助成等を募集中**

当財団では、主として関西地域におけるエネルギー・リサイクル分野および総合防災科学分野に関する研究等に対する助成を行っています。自然科学分野、人文・社会科学分野、および両者が融合した幅広い分野が対象です。

現在、2024年度の研究助成、および第2回国際交流活動助成等について募集中です。

応募資格に年齢制限はありません[ただし、若手研究者(概ね40歳以下)および研究歴の短い研究者(概ね研究歴10年未満)を主要助成対象とします]。

また、国際交流活動助成(研究者海外渡航)および研究発表会等の開催助成では、2024年度は引き続き、オンライン等で開催の国際会議等についても助成対象とします。

皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。

**■ 助成種類とその概要**

助成種類	研究助成	国際交流活動助成		研究成果の出版助成	研究発表会等の開催助成
		研究者海外渡航	海外研究者招聘		
1件あたりの助成額	100万円以下	20万円以下	50万円以下	10万円以下	40万円以下
助成件数	エネルギー・リサイクル分野	11件程度	4件程度	5件程度	2件程度
	総合防災科学分野	3件程度	1件程度	3件程度	
申込締切日	2024年8月31日(土)	第2回:2024年7月31日(水)			

**■ 申込方法**

ホームページより、研究者登録のうえ応募書類をダウンロードし電子申請にてお申し込みください。

書面での提出をご希望の方は、申込書に必要事項を記入の上、1部を財団事務局まで、締切日必着にてご送付願います。

**■ 応募要領（書面での提出をご希望の方）のご請求は事務局まで**

インターネットからも請求可 <https://www.krf.or.jp/application>

Eメールアドレス [info@krf.or.jp](mailto:info@krf.or.jp)

TEL 06-7506-9068 FAX 06-7506-9069

**■ 事務局より**

2024年度研究助成は、自然科学分野、人文・社会科学分野、および両者が融合した幅広い分野を対象に募集しています。これまで応募されていない皆さまにもぜひご検討いただきたく存じます。

また、今年度から、「国際交流活動助成(海外研究者招聘)」および「研究発表会等の開催助成」では、エネルギー・リサイクル分野と総合防災科学分野の両分野を合わせた件数で募集しています。

ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。